

県政トピックス

12/23[水]
▼
12/24[木]

九州新幹線で産地直送!「鹿児島よかもんマルシェ」



▲朝採れ野菜をを求める多くの来場者

九州新幹線を活用して、県産の新鮮で旬な青果物やレアな加工品を博多に直送し、PR・販売するマルシェが博多駅で開催されました。

会場では、朝採れ野菜の到着を多くの方が待ち受け、ソラマメやスナップエンドウ、旬の桜島小みかんなど、一足早い南国からの春の訪れを楽しみました。また、数量限定の水産加工品やパンなども好評で、終了時間を待たずに完売となりました。

今回は、新幹線による荷物輸送のトライアルとして初めての試みでしたが、今後、高速輸送の利点を生かした県産品の新たな販路開拓への広がりが期待されます。



▲九州新幹線で直送される青果物

12/25[金]

「かごしまこども環境大臣」任命式・サミット



▲「かごしまこども環境大臣」に任命された子どもたち



▲塩田知事から任命証を授与

「かごしまこども環境大臣」任命式・サミットを行いました。

これは、持続可能な社会づくりに主体的に参加できる人材を育成するため、環境保全活動に関心のある子どもたちから「環境レター」を募集し、優秀作品に選ばれた子どもたちを「かごしまこども環境大臣」として任命するものです。

任命式後に行われたサミットでは、9名のかごしまこども環境大臣と塩田知事との間で、省エネ活動や環境保全の取り組みについて意見交換が行われ、最後に、鹿児島県の環境をよりよいものにするための「かごしまこども環境宣言2020」を子どもたちが発表しました。

12/13[日]

中国・北京での本県産焼酎プロモーション



▲焼酎の飲み方を紹介する咧酒師



▲本県産のプリを使った味噌煮

県では、中国における焼酎の認知度向上を図るため、12月21日から1月10日まで、北京市内の日本料理店「一元MOTO」において、本県産焼酎のプロモーションを実施しました。

12月13日に開催したオープニングイベントでは、現地インフルエンサーや店の常連を招き、本県産プリを含む料理と焼酎の組み合わせを堪能していただいたほか、中国人焼酎咧酒師が焼酎や本県の食文化を紹介しました。招待客からは、「これまで焼酎に触れる機会はなかったが、今回、焼酎や鹿児島島の食文化を学べてよかった」「プリは初めて食べたが、とてもおいしかった」という声が聞かれました。

1/16[土]

かごしま就農・就業相談会



▲先輩就農者による体験談セミナー



▲個別ブースでの相談の様子

かごしま就農・就業相談会が、1月16日にかごしま県民交流センターで開催されました。

県内の農業法人や自治体など31団体が出展し、129人が来場され、就業支援制度や仕事内容について相談を受けました。また、先輩就農者による事例発表が行われ、指宿市でオクラやスナップエンドウを栽培する秋葉泰光さんが、県立農業大学校での研修制度の活用や就業に向けてのアドバイスをされました。

今後とも、このような取り組みなどを通じて、一人でも多くの方が就農・就業できるよう努めてまいります。

12/13[日]

県立博物館入館者500万人達成



▲(中央)500万人目の入館者となった上木聖・洋人さん親子



▲鈴木館長から親子に認定証を贈呈

県立博物館では、昭和56年の開館以来の入館者が500万人を達成しました。

12月13日に行われた記念セレモニーでは、入館者500万人目となった親子に、館長から認定証と記念品を贈呈しました。

また、当日は特別イベントとして歳末感謝祭を開催し、実験教室などを行いました。多くの来館者が参加し、体験をとおして自然や科学に興味をもっていただく機会となりました。

これからも、鹿児島の自然を紹介する自然史博物館として、魅力的な展示や教育活動に努めてまいります。

1/22 [金]
▼
2/7 [日]

新型コロナウイルス「感染拡大警報」



▲「感染拡大警報」について会見を行う塩田知事



▲新型コロナウイルス感染症対策本部会議

県では、新型コロナウイルスの感染者数を抑え、医療提供体制への負荷を軽減する必要があることから、本県の警戒基準を「ステージⅢ」に引き上げ、1月22日から2月7日までの間「感染拡大警報」を発令しました。

「感染拡大警報」の発令により、県民の皆さまに対し、感染拡大地域への不要不急の往来自粛を要請するとともに、感染拡大地域からの不要不急の来県自粛を要請しました。

また、感染リスクが高いとされる飲食の場における接触機会の低減を図る観点から、県内5市の飲食店を対象に、5時から21時までの営業時間短縮要請を行いました。

皆さまにおかれては、引き続き、マスクの着用や手洗いなど基本的な感染防止対策の徹底や感染拡大地域への不要不急の往来自粛などにご協力をお願いします。

1/23 [土]

鹿児島県ビジネスプランコンテスト



▲さまざまなアイデアを発表した参加者



▲(左から)高校生賞の吉次さん、大賞の吉松さん、優秀賞の酒井さん

県内における起業に向けた機運醸成を図り、起業を促進することを目的とした「鹿児島県ビジネスプランコンテスト」を1月23日に開催しました。

将来性のある素晴らしいビジネスプランが多数発表されました。審査の結果、株式会社TSグループ東翔&塗職の吉松良平さんが大賞を、酒井さつきさんが優秀賞を、ラ・サール高等学校の吉次優太さんが高校生賞を受賞し、塩田知事が表彰しました。

県では、起業しやすい環境を整備し、鹿児島から世界に羽ばたく新しいビジネスが展開されるよう、さまざまな施策を通じて支援してまいります。

2/2 [火]

令和2年度知事表彰「スポーツ部門」表彰式



▲知事表彰受賞の選手ら



▲表彰状を授与される鶴田選手

令和2年度に日本選手権などの国内大会で優秀な成績を収め、本県のスポーツ振興に貢献した12個人に対して「スポーツ部門」の知事表彰を行いました。

塩田知事が表彰状と記念品を贈り、「県民に夢と感動、活力を与えていただいた。今年の東京2020オリンピックや2023年に開催されるかごしま国体で活躍されることを期待します」と祝福しました。

受賞者を代表して、日本陸上競技選手権大会女子200メートルで優勝した鶴田玲美選手が「現状に満足せずに鹿児島県のスポーツ振興、発展に貢献できるよう努力を重ねていきたい」とあいさつしました。

県では、引き続き表彰などを通じて、その功績をたたえるなど、スポーツの振興に取り組んでまいります。